

Tomorrow, Together

KDDI

2025年3月期 1Q決算 (2024年4月- 6月)

2024年8月2日

KDDI株式会社

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

 KDDI VISION 2030



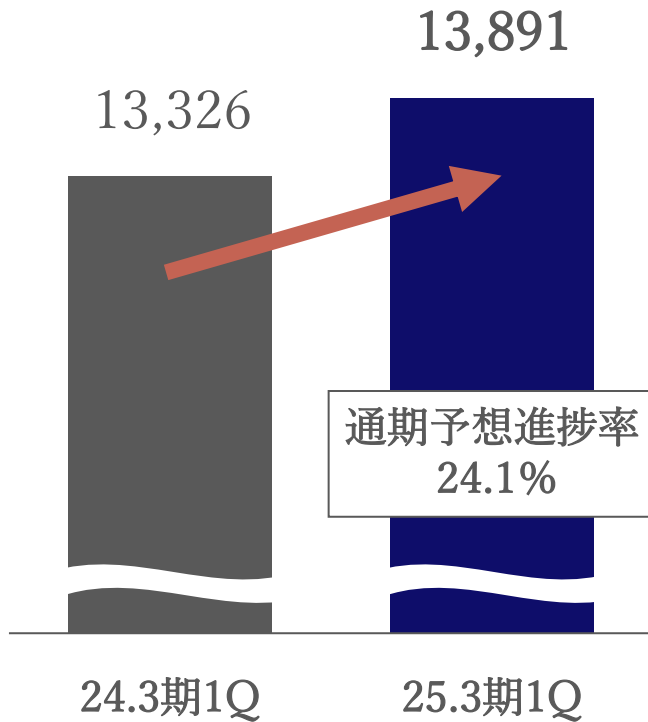
1. 25.3期1Q 連結業績

連結業績ハイライト

増収増益。通期予想に対し、順調に進捗

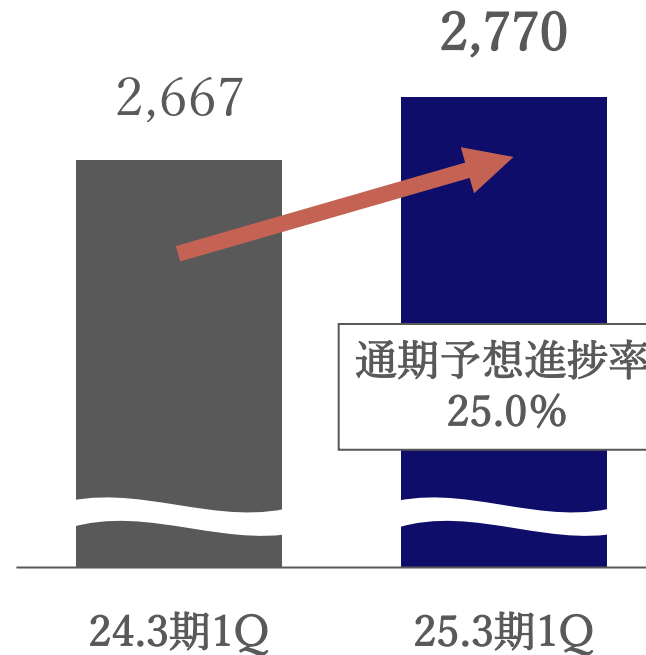
売上高

(単位：億円)



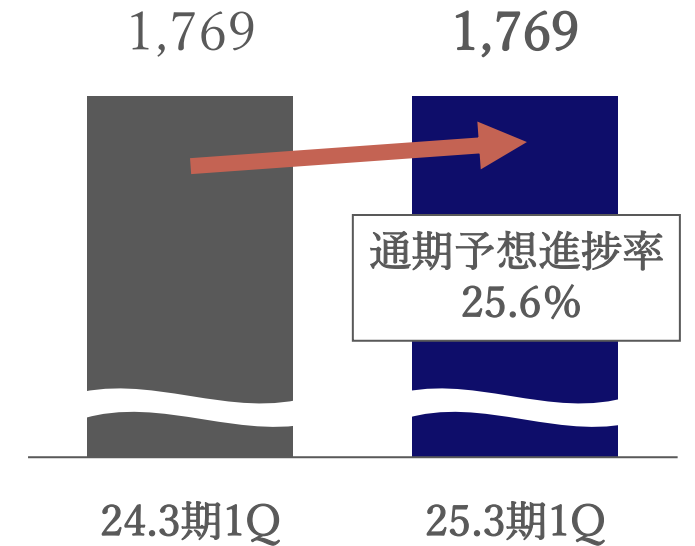
営業利益

(単位：億円)



当期利益*

(単位：億円)

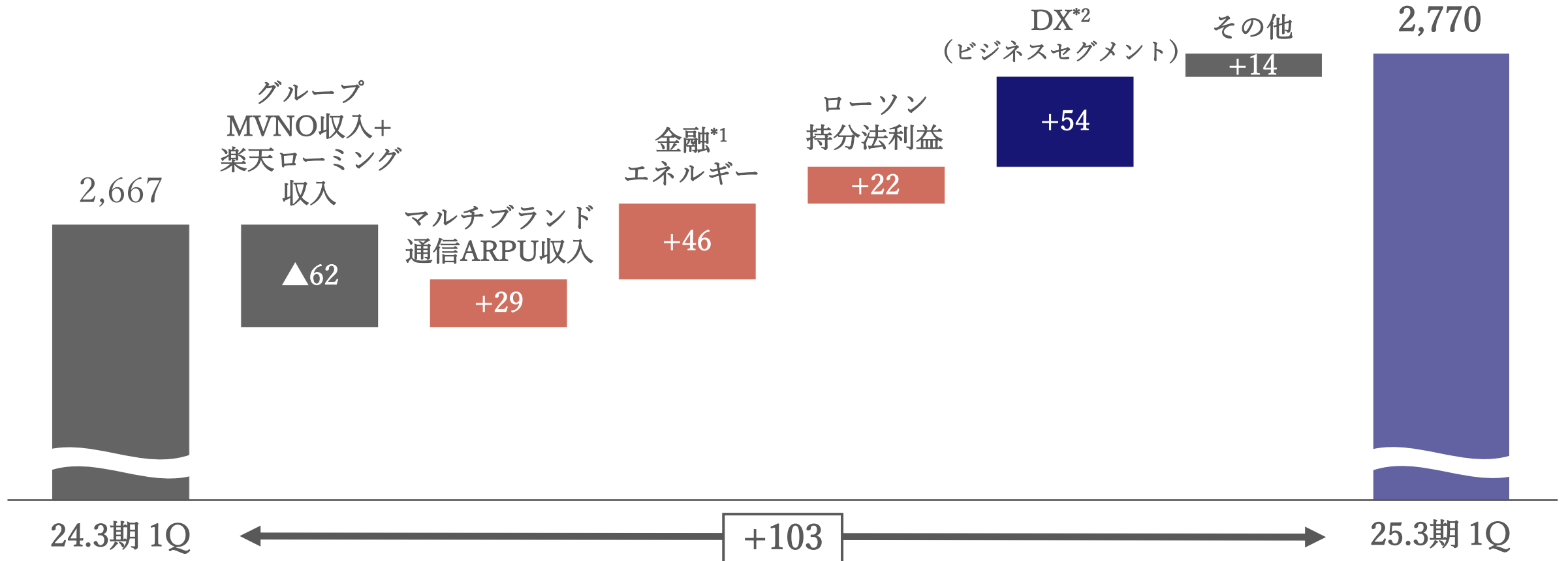


*親会社の所有者に帰属する当期利益

連結営業利益 増減要因

通信ARPU収入が増加。DXをはじめとした注力領域が成長を牽引

(単位：億円)



*1 auフィナンシャルホールディングス (IFRSベース)

*2 25.3期より一部事業部門を変更したことに伴い、24.3期1Q実績も組替後の数値にて計算。以後、ビジネスセグメントの数値は組替後数値で記載

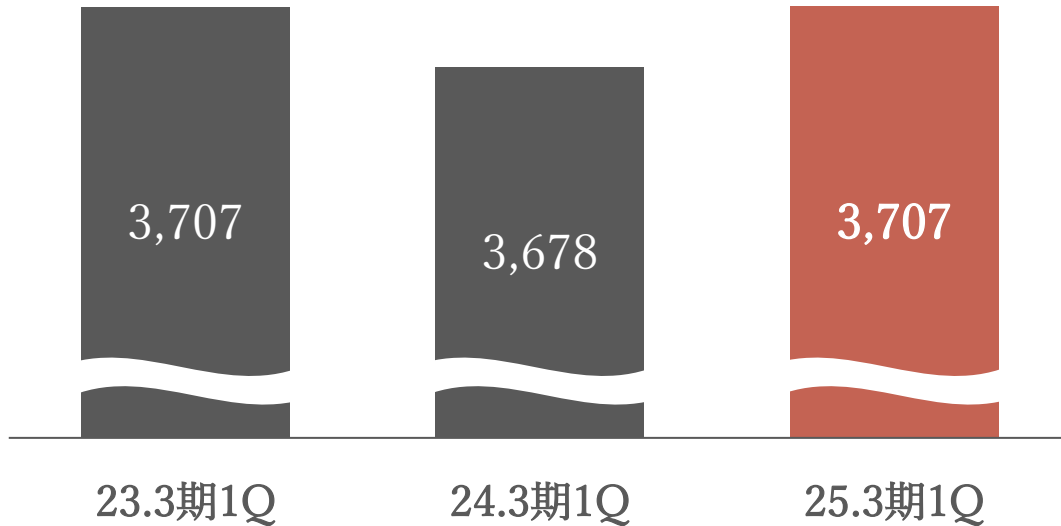
連結業績のポイント

通信ARPU収入とビジネスセグメントが成長

通信ARPU収入

23.3期1Q水準を超過

(単位：億円)

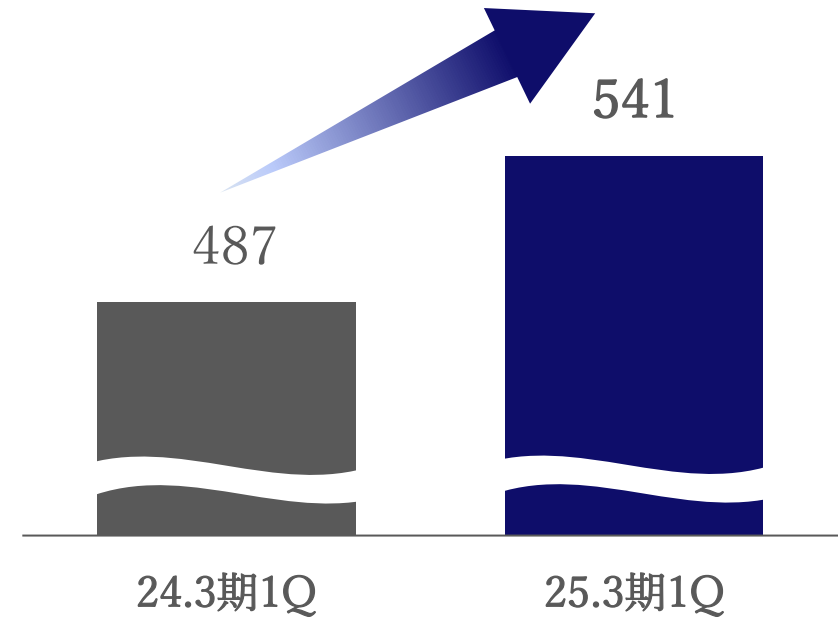


ビジネスセグメント営業利益

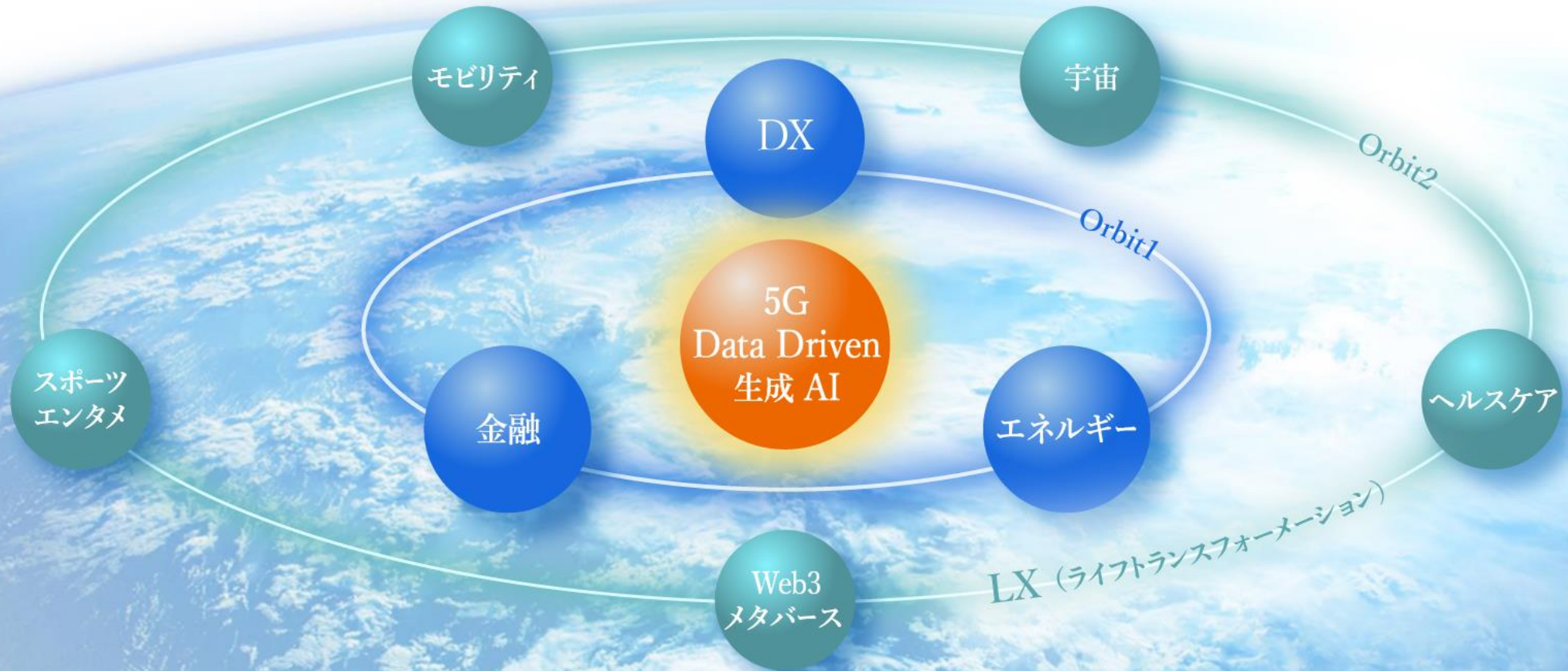
通期二桁成長に向けて想定通り進捗

YOY+11.2%

(単位：億円)



2. サテライトグロース戦略



未来への取組み

To Global

グローバルへの拡大

DC/IoT 需要・新興国成長の取込み

With Life

もっとお客さまに身近な会社へ

お客さま接点の強化

CATV・地域共創事業の推進

For Future

未来人財・スタートアップ育成

生きる力と専門性を高める機会の提供

日常をつなぐ

Sub6基地局数はNo.1。通信品質でお客さまに選ばれるauへ

Sub6の展開状況

高速5GのSub6エリアを高密度に展開

Sub6基地局数

5G通信速度

高速5G
専用ネットワーク
Sub6基地局数

No.1^{*1}

3.9万局開設済

約3倍向上^{*2}

Sub6 vs 4G転用

優位性ある周波数配置

KDDI
のみ

近接した2周波数ブロック保有^{*3}

×

国内初^{*4}

2周波数対応Massive MIMO導入^{*5}

通信品質向上とエリア展開に貢献
Sub6の本格利用フェーズへ

^{*1} 国内MNO4キャリア比較。総務省「第5世代移動通信システムの導入のための特定基地局の開設計画」令和5年度 第二四半期末時点 ^{*2} 下り通信速度。一般的な実効速度における5G (4G転用)と5G (Sub6)との比較。24年5月末時点、当社調べ ^{*3} KDDIのみ3.7GHz帯にて100MHz幅×2ブロック保有 ^{*4} 24年7月末時点。当社調べ ^{*5} Dual Band Massive MIMO (3.7GHz、4.0GHzに対応)、24年度稼働予定。Massive MIMOとは、基地局側で伝搬路状態を高精度に推定し、ビームフォーミングを用いて複数端末と同時に通信する技術

非日常をつなぐ

お客さまのご利用シーンに合わせたエリア展開を推進



フェスWi-Fi



富士山5G/4Gエリア化



イベント時の出張基地局



海上利用

写真提供：郵船クルーズ(株)

より快適にご利用いただける通信環境を提供し、お客さまの非日常を安心・安全にサポート

生成AI

パートナーリングを強みに、企業の生成AI活用とビジネス変革を促進



経済産業省

- 中長期1,000億円規模の設備投資
(補助金含む)

ELYZA

- オープンモデルを活用した
日本語LLM開発

アルティウスリンク

- 次世代コンタクトセンター

堺工場跡地(シャープ)

- AIデータセンター構築検討中

NICT*

- LLM周辺技術を共同研究

野村総合研究所 (NRI)

- 高セキュリティなAI活用推進

各領域にてパートナーとの取組みを推進中

ELYZAとの連携

LLM開発のリソースや時間を効率化、スピーディーな価値提供を目指す

価値共創

オープンモデルを活用することで
計算リソースや時間を削減

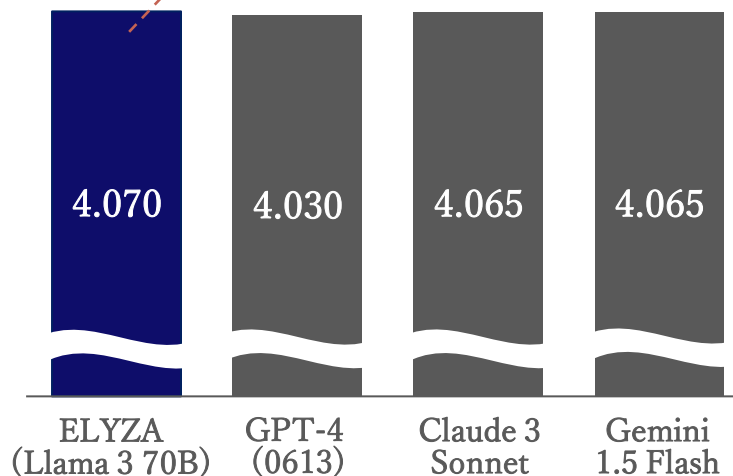


2024年3月業務提携開始

ELYZAの強み

高品質な日本語LLMを効率的に開発

グローバルモデルに匹敵する
最高精度の日本語LLM*



Meta社のLlama 3をベースに
モデルを開発

* 日本語ベンチマーク「ELYZA Tasks 100」による性能比較。100種類のタスクを5段階評価した平均値で比較

生成AIの社会実装

パートナーと新たな価値を共創し、企業の生成AI活用を加速

次世代コンタクトセンター

ELYZA

導入実績

明治安田



SMBC

三井住友カード

auのCSノウハウ

AI活用により
有人業務50%効率化

 **Altius Link**

グループ連携強化による
コンタクトセンター高度化



法人向けソリューション

3社の強みを掛け合わせ、企業の生成AI活用を加速

NRI

×

ELYZA

×

Tomorrow, Together
KDDI

業務適用と
システム実装

国産
LLM基盤

大規模
計算基盤

- 国産LLMを高セキュリティかつ効果的に提供
- 生成AI関連サービスの開発、提供

2024年7月協業開始

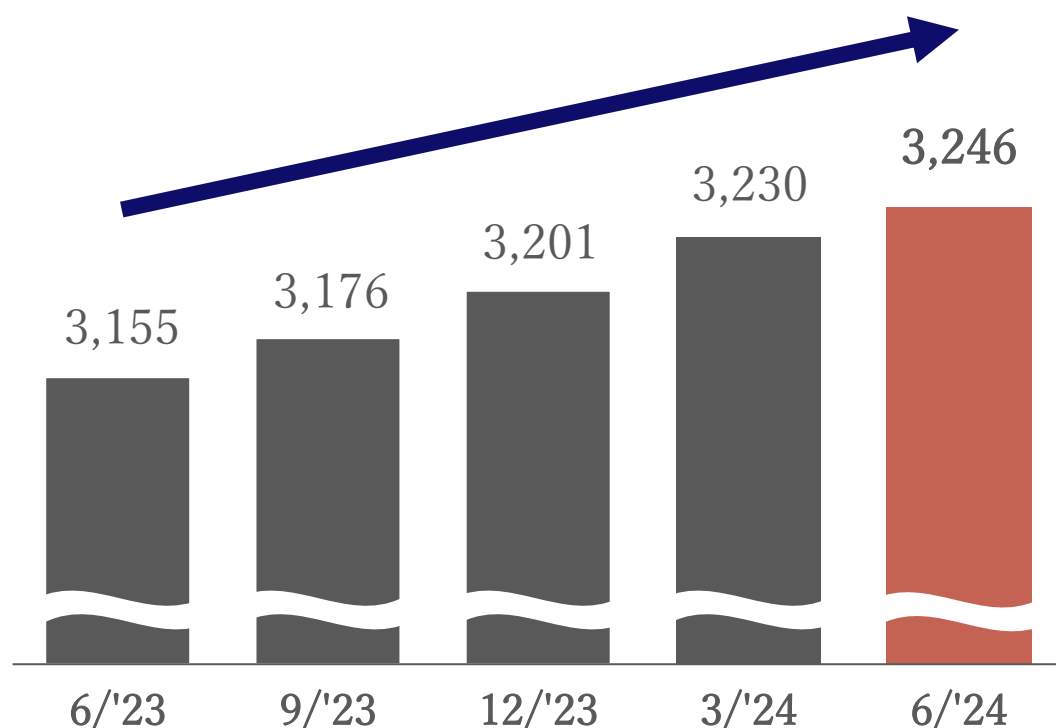
パーソナルセグメント

モメンタム

成長基盤となるスマートフォン稼働数が増加、au解約率は低水準を維持

スマートフォン稼働数*

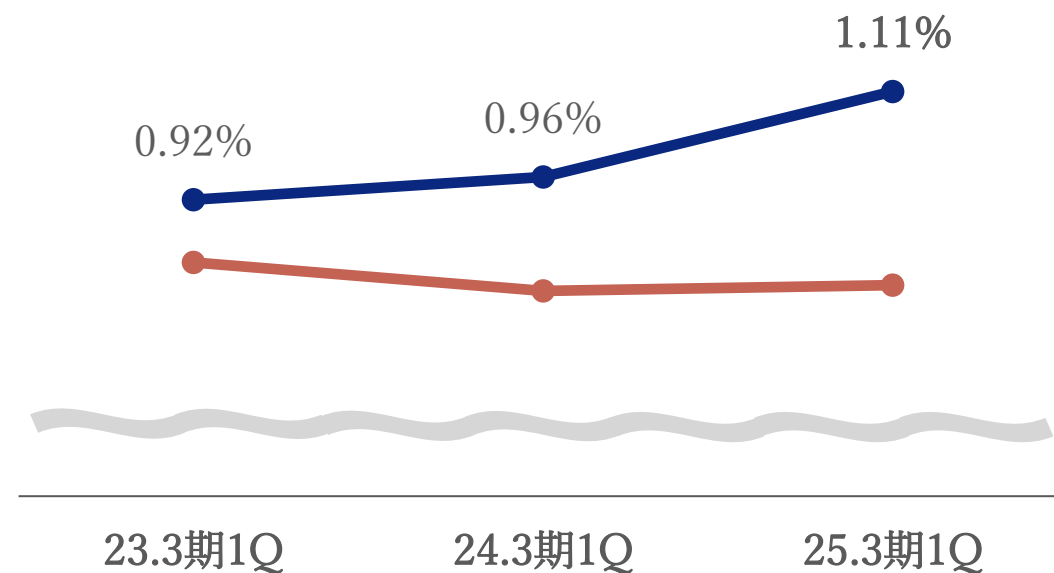
(単位：万)



* 法人契約含む

解約率 (パーソナル)

● マルチブランド ● au



通信ARPU成長に向けて

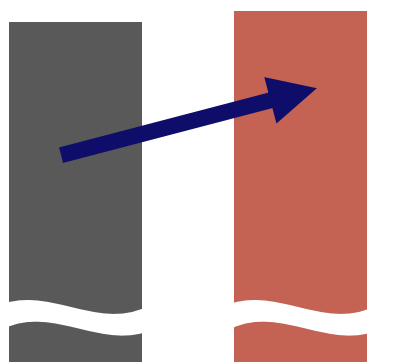
ブランド別ARPUが伸長。UQ mobile→auへの移行も増加

ブランド別通信ARPU

おもしろいほうの未来へ。

au

YOY+約3%

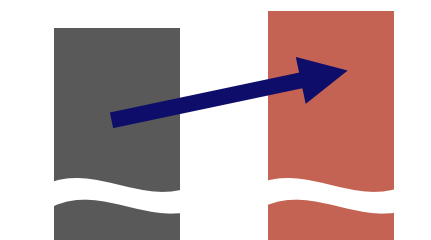


24.3期1Q 25.3期1Q

シンプルを、みんなに。

UQ mobile

YOY+約8%



24.3期1Q 25.3期1Q

プラン選択率

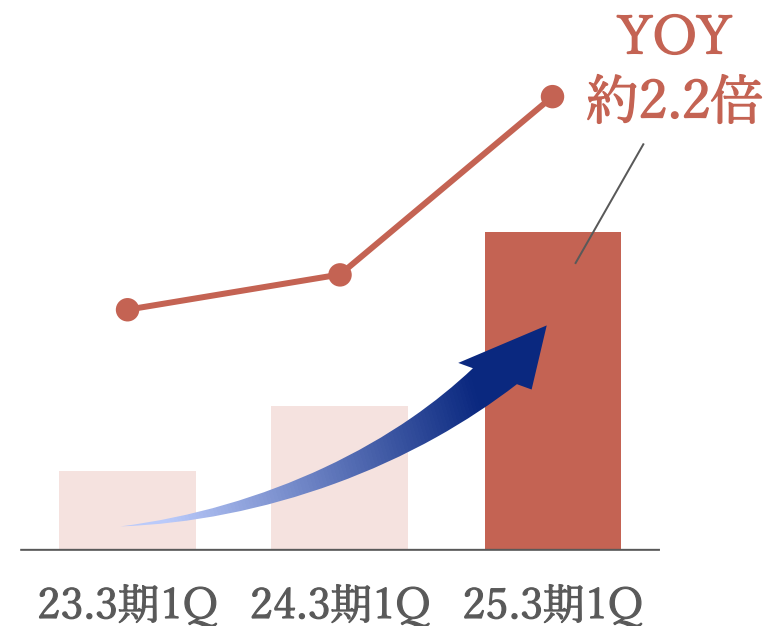
【au】
使い放題プラン
8割超 (機種変更時)

【UQ mobile】
中・大容量プラン
7割超 (新規加入時)

UQ mobile→au

移行数・移行率ともに増加

■ 移行数 ● 移行率



* 前四半期末時点のUQ mobile契約数に占める当四半期中移行数の割合

通信 + 付加価値シナジー ①

付加価値サービスを拡充し、通信の成長にも貢献



でんき



au でんき

固定



決済・金融



au
じぶん銀行

補償



コンテンツ

Ponta パス

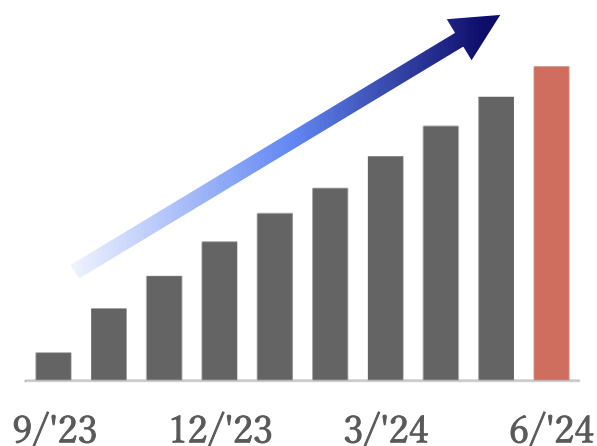
コンビニ etc.



シナジー効果① 通信の成長

au マネ活 プラン

24年7月
100万契約突破



解約率*1

au マネ活 プラン
vs
他使い放題プラン

約2割改善

通信ARPU*2

au マネ活 プラン 加入により

約1割増

通信 + 付加価値シナジー ②

シナジーにより金融サービス利用増。銀行の基盤拡大に貢献

シナジー効果② 金融サービス利用増

au マネ活 プラン

auじぶん銀行口座保有率

auマネ活プラン vs au全体

約4.8倍*

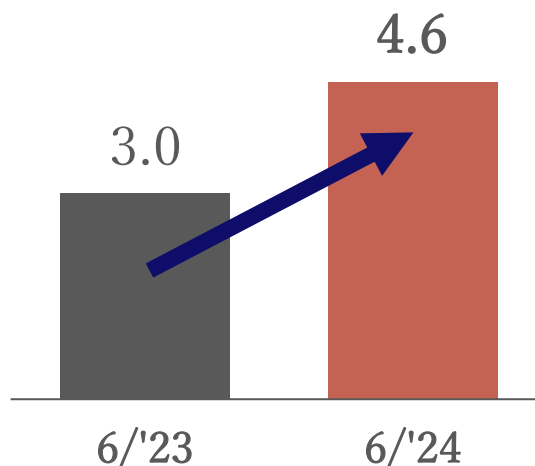
銀行の基盤拡大にも貢献

auじぶん銀行のアセット成長

預金残高

(単位：兆円)

YOY+53.3%

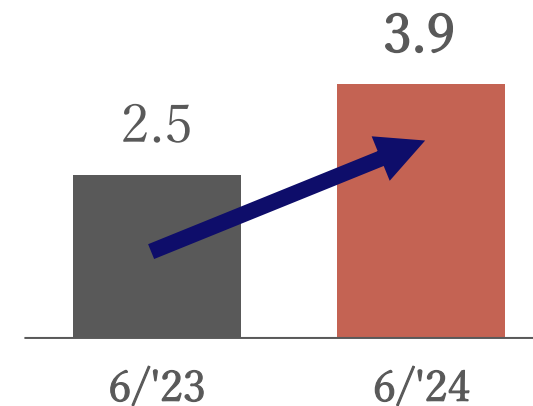


貸出残高

(単位：兆円)

住宅ローン融資実行累計額
4.5兆円突破 (24年6月)

YOY+56.0%



* 24年6月末時点の契約者に対するau ID連携済口座数の割合を比較

ビジネスセグメント

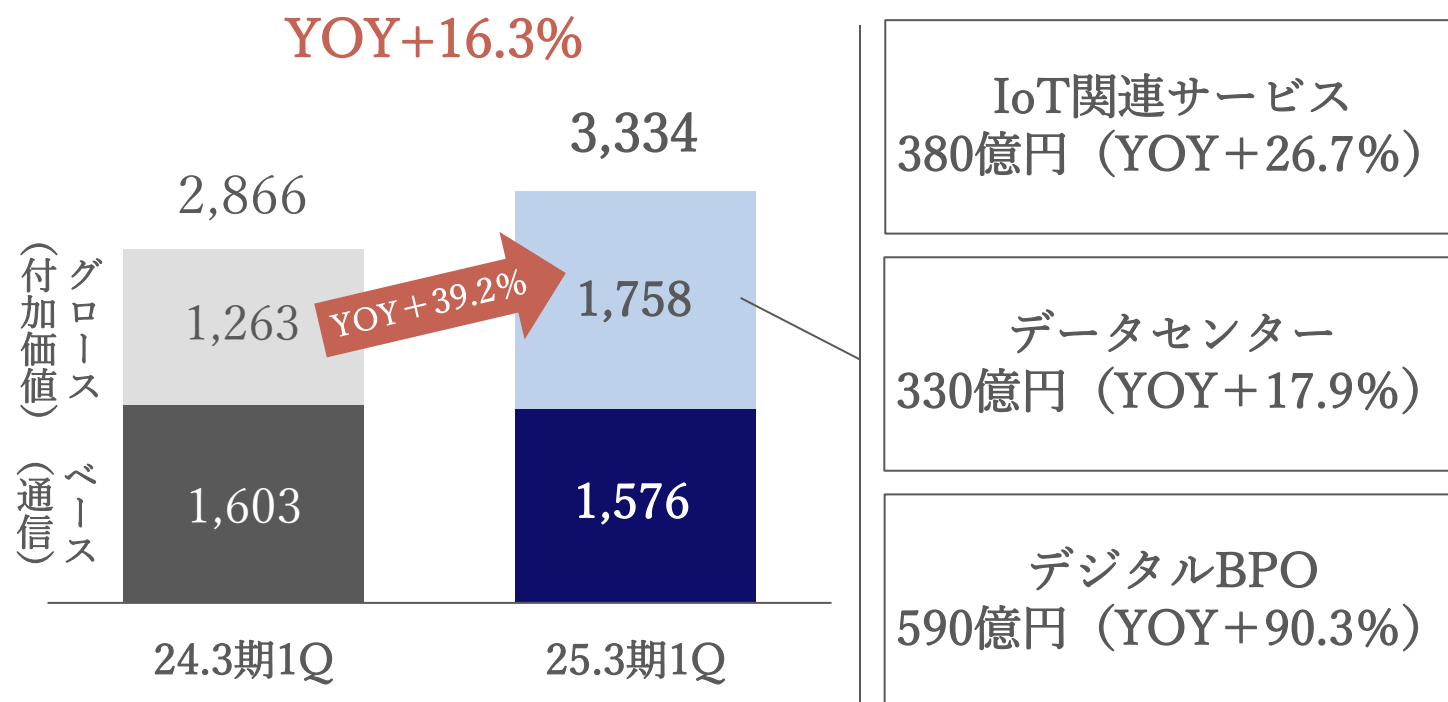
事業基盤拡大

通信＋付加価値の戦略推進により、グロース領域が順調に成長

売上高

グロース領域が二桁成長を牽引

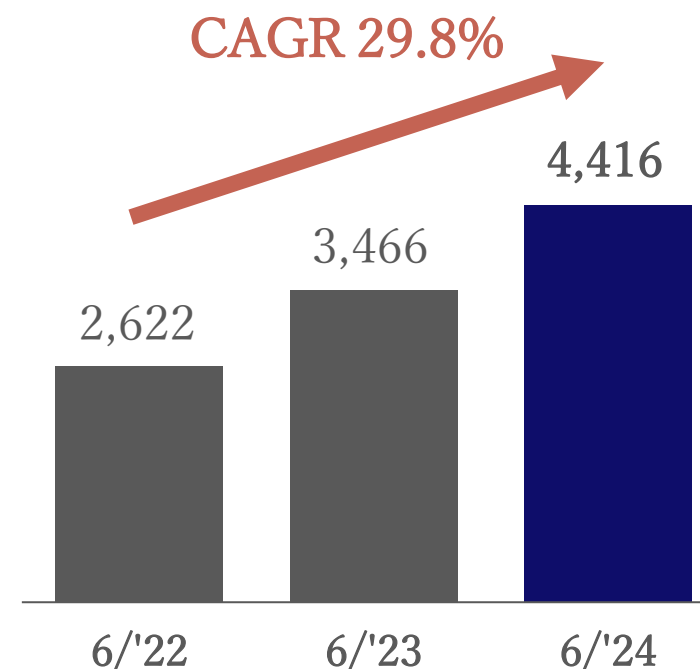
(単位：億円)



IoT累計回線数

データ収集/活用の接点が拡大

(単位：万)



ワコンクロス
WAKONX

AI時代のビジネスプラットフォームでお客様のDXを加速



業界共通課題への
DXソリューション

デジタル投資への
負荷軽減



データ・AIの活用

付加価値強化による
競争力向上

物流DX

パートナーとともに、業界の課題解決に向けたソリューションを提供

共同配送

デジタルを活用した
オープンな共同配送実現に向け検討開始



ドライバー不足/カーボンニュートラルへの対応

倉庫自動化

倉庫内業務の最適化・省人化
倉庫DXのサービスをワンストップ提供



EC市場拡大による業務負荷増を解決

デジタルBPO

データ・AIを活用し、お客さま課題の解決と体験価値向上を目指す

デジタルBPO推進「Altius ONE」

データドリブンでお客さまのBX*1に貢献する
価値共創型プラットフォームサービス



CXデザイン

クラウド

音声認識

データ基盤

AI

データ・AI活用の高度化

 **Altius Link**



ELYZA

対話分析
回答案の自動作成

FLYWHEEL

データ統合・可視化
分析高度化

「Microsoft Copilot」活用

業界最大規模*2のMicrosoft 365製品
サポートリソース保有

*1 BX（ビジネストランスフォーメーション）は、デジタル化を導入した戦略によって企業の業務を全体的に見直し、業務改善を行うこと。ビジネスモデルを変革したり、生み出す活動

*2 Microsoft 365製品サポートを提供する企業での比較、当社調べ

つなぐチカラの進化

通信やAIを通じ、「ワクワクを提案し続ける会社」へ

KDDI SUMMIT 2024

多様なゲストを迎え
通信×AIをはじめとした最新事例をご紹介



KDDI SUMMIT 2024 Tomorrow. Together
KDDI

オープニング基調講演

**通信とAIのトップが語る
新時代**

9/3(火) 10:05~11:20



高橋 誠
KDDI株式会社
代表取締役社長 CEO



長崎 忠雄氏
OpenAI Japan合同会社
代表執行役社長

会場・オンライン同時開催 **9.3 TUE - 4 WED 虎ノ門ヒルズフォーラム**

日本代表選手団「TEAM JAPAN」

パリ2024オリンピック日本代表選手団「TEAM JAPAN」を
つなぐチカラで応援



応援が、世界を変える。

TEAM JAPAN ゴールドパートナー (通信サービス)

aw

さあ何やる? 夏

ローソン

一連の株式取得のクロージングに向け順調に進捗

KDDI

LAWSON

 **三菱商事**

公開買付け完了

ローソン非上場化

スクイーズアウト完了(予定)

2月

4月

5月

7月

9月

資本業務提携契約
を締結

ローソン
持分法適用会社化
(議決権比率41.1%)

三菱商事とKDDIの
共同経営体制へ
(議決権比率50.0%)

「Real × Tech Convenience」実現に向け、
3社で協業施策検討中

サマリー

事業成長とAI時代へ向けた取組みを加速

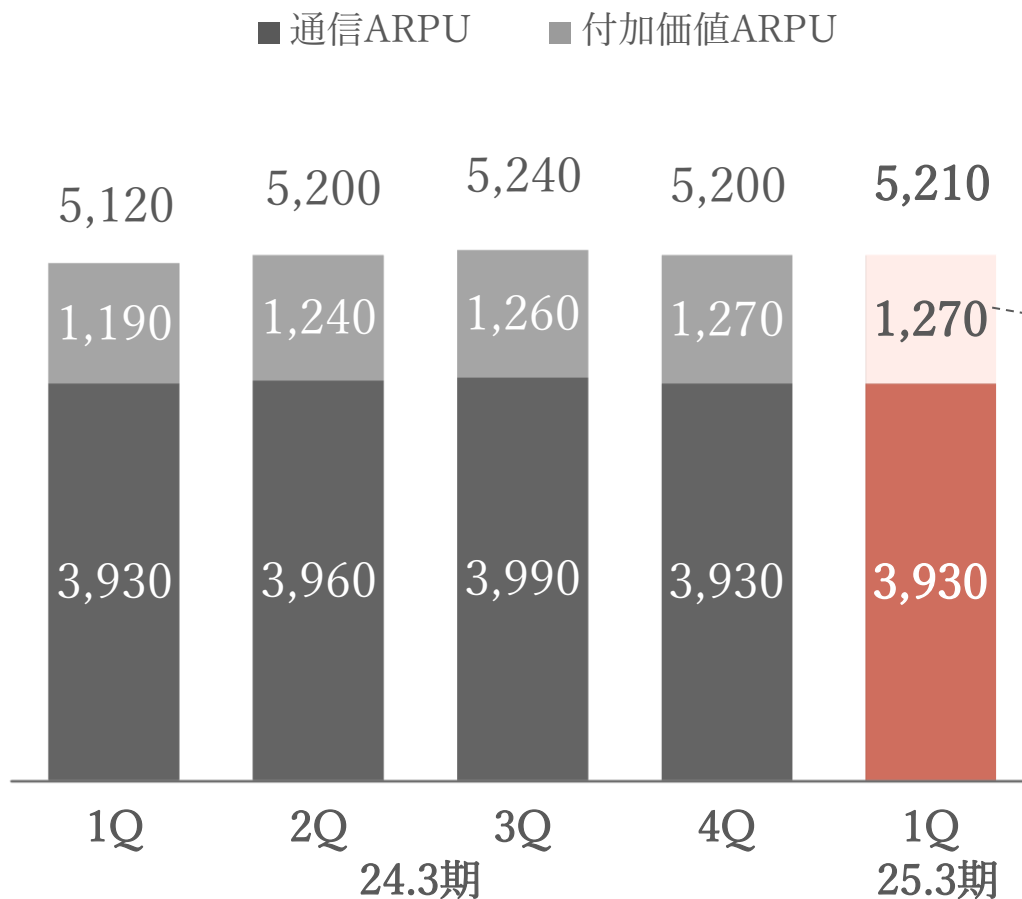
連結業績	<ul style="list-style-type: none">● 増収増益。通期予想に対し、順調に進捗● 通信ARPU収入が増加。DXをはじめとした注力領域が成長を牽引
サテライトグロース戦略	<ul style="list-style-type: none">● 高速5GのSub6基地局数No.1。通信品質でお客さまに選ばれるauへ● パートナリングを強みに、企業の生成AI活用とビジネス変革を促進● モメンタムや各ブランドARPUが順調に推移。通信+付加価値シナジーを推進し、ARPU収入の持続的成長を目指す● ビジネスセグメントはグロース領域が成長を牽引。AI時代のビジネスプラットフォーム「WAKONX」の取組みを加速

Appendix

総合ARPU

総合ARPU（通信＋付加価値*）

（単位：円）



■ 付加価値ARPU

- 決済・金融
480円（YOY＋80円、QOQ＋10円）
- 補償
410円（YOY＋20円、QOQ＋10円）
- コンテンツ等
390円（YOY▲10円、QOQ▲10円）

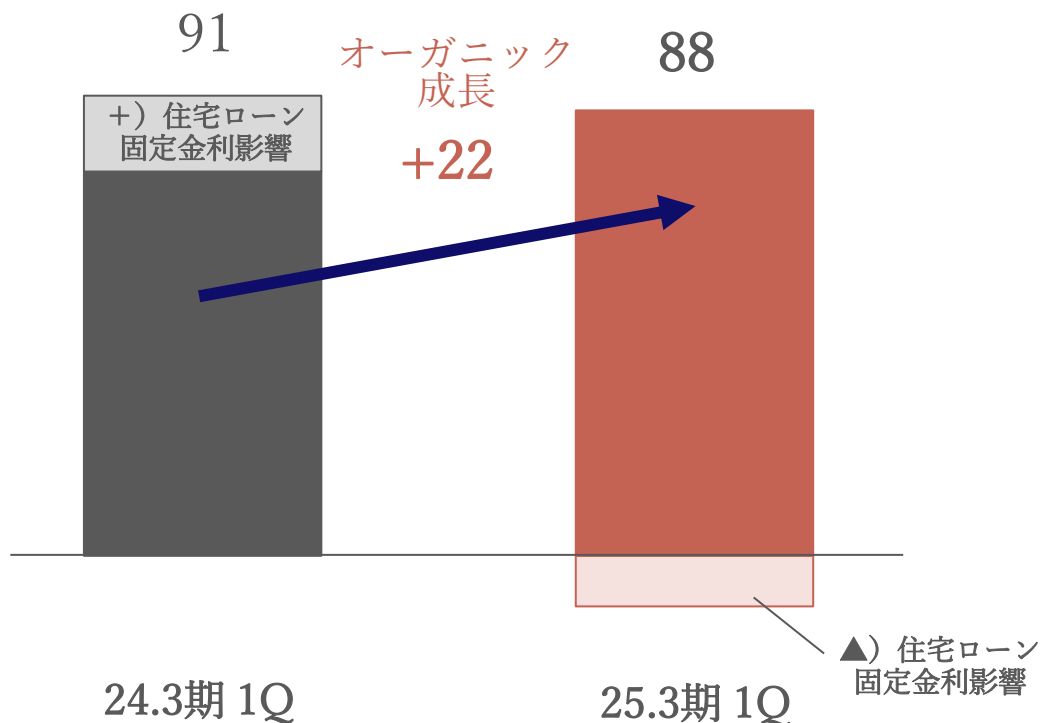
* 25.3期より、一部事業部門のセグメントを変更しております。これに伴い、24.3期について、組替後の数値に変更しております。

金融事業

営業利益

(単位：億円)

1Qは想定通りの進捗



主要KPI

au PAY カード会員数

24年6月末 **964万** (YOY+89万)

うち、ゴールドカード会員数
125万 (YOY+36万)



auじぶん銀行 預金口座数

24年6月末 **619万** (YOY+89万)



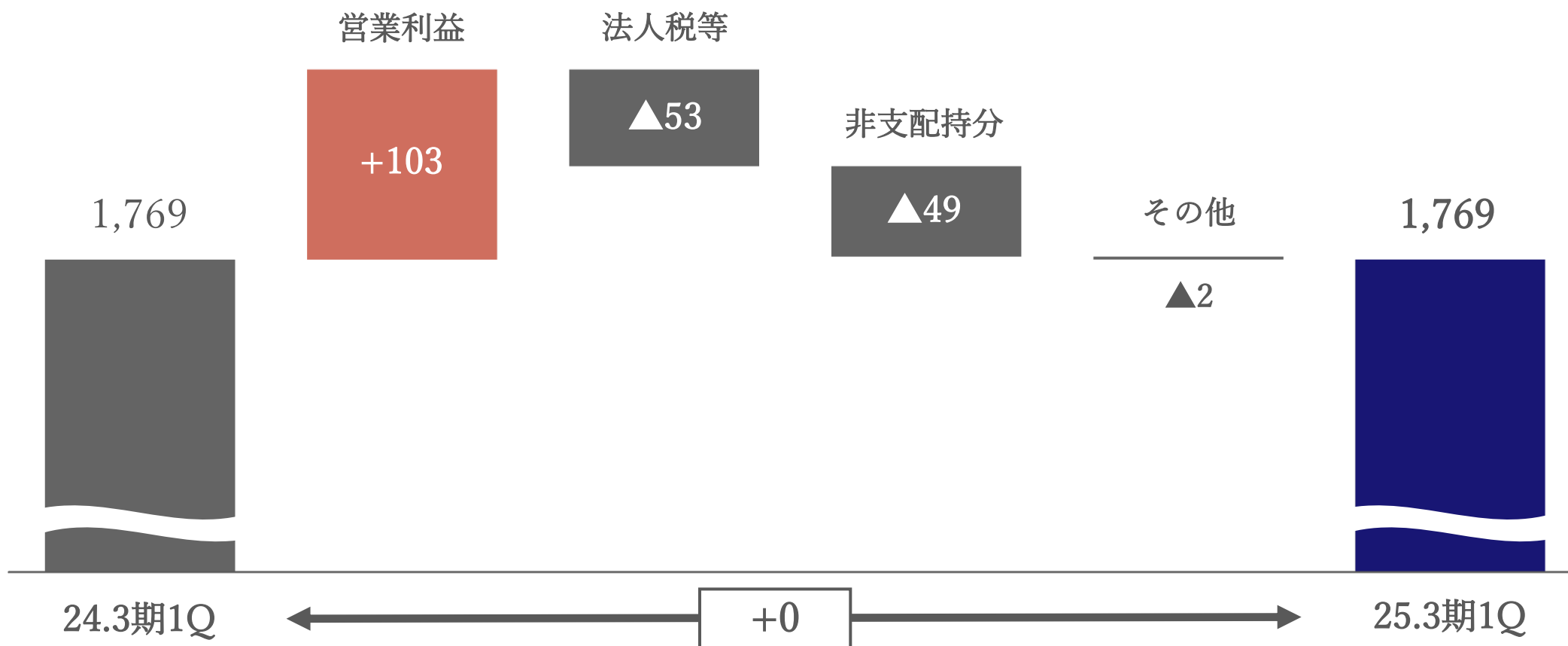
決済・金融取扱高

25.3期1Q **5.1兆円** (YOY+30.7%)



25.3期1Q 当期利益増減要因

(単位：億円)



財政状態計算書 (2024年6月末)

(単位: 十億円)

有形固定資産 無形資産 使用権資産 4,292.2	有利子負債 2,484.2
	営業債務及びその他の債務 843.5
	金融事業の借入金*2*3 860.2
のれん 580.9	金融事業の預金*3 4,503.3
営業債権及び その他の債権 2,643.6	
金融事業の有価証券 451.2	
金融事業の貸出金*3*4 3,969.4	その他負債 1,152.0
現金及び現金同等物 1,471.1	資本 5,792.9
その他 2,227.7	

KDDI (連結)*1
総資産 15.64兆円

(単位: 十億円)

現金及び現金同等物 1,250.5	借入金*2 871.1
有価証券 451.2	預金 4,528.8
貸出金 3,966.6	
その他 1,055.9	
	その他 1,324.3

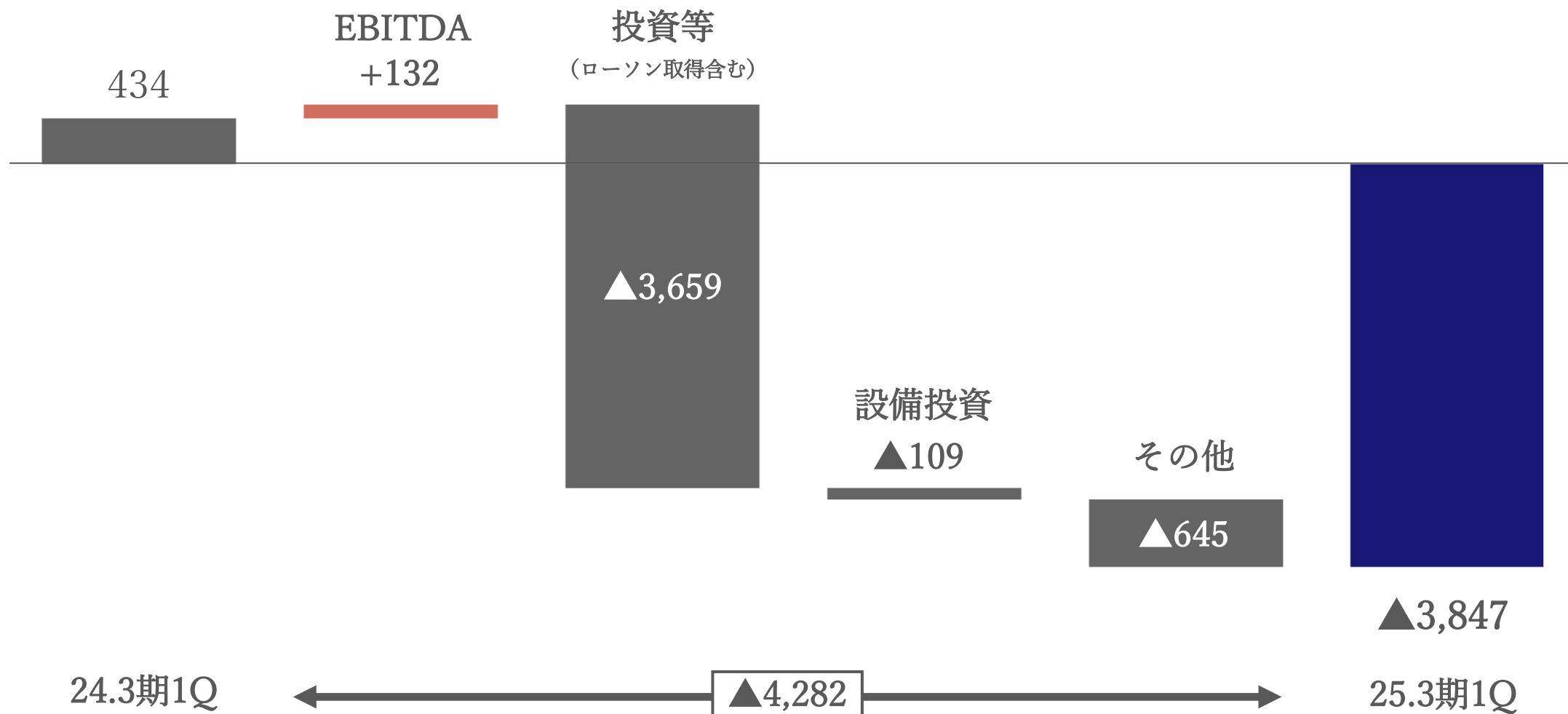
auフィナンシャルホールディングス (連結)*1
総資産 6.72兆円

*1 KDDI (連結)、auフィナンシャルホールディングス (連結)、ともにIFRSに準拠した決算数値 *2 主に適格担保による日本銀行からの借入 *3 グループ間取引を除く

*4 auフィナンシャルホールディングス以外のグループ会社分を含む

連結FCF(金融事業除く)増減要因

(単位: 億円)



注) 金融事業はauフィナンシャルホールディングス



免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の情勢、経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。